

(院内掲示用ポスター) 倫理審査委員会承認番号 第 D2020-026 番

2013 年～2020 年、むし歯外来にて治療を受けられた患者さんへ

「大型歯冠欠損部に対する直接法コンポジットレジン修復の予後に関する研究」ご協力をお願い

この研究は、歯を大きく失ってしまった(抜歯、折れて根っこだけになった)状態における、治療経過を予知することを目的としたものです。本研究は東京医科歯科大学倫理審査委員会の承認を得て実施するものです。

今回は、研究のために患者さんへ何か特殊なことをするのではなく、通常の治療のために計測・記録したデータの一部のみを用いる研究ですので、改めてお一人ずつから同意は頂かず、研究に参加したくない方のみ対象から除外する「オプトアウト」という方法をとります。本研究の調査対象者・代諾者の方で調査に同意されない方はお申し出ください。ご連絡いただければ調査の拒否ができます。また、調査に参加されないことによる不利益は一切ございません。データを提供したくないという方は、下記までご連絡ください。

本研究では、過去の電子カルテ情報を使用しますが、氏名など個人が特定できる情報は全て除外した状態で、データ解析を行います。その際、年齢・性別・治療前の口腔内状態・治療後の経過(2020年12月31日まで)など診療情報の一部を登録しますが、こちらにも個人が特定できる情報は含まれません。

本研究の調査対象者：担当医が佐藤隆明、保坂啓一のいずれかであり、2013年～2020年むし歯外来にて下記いずれかの治療を受けた成人の患者様

- ・抜歯した1本分の隙間を、「接着ブリッジ」という手法で歯を削らずに治療した方
- ・根っこだけの状態の歯を、抜歯せずに「差し歯」や「コンポジットレジンだけ」で歯の形へ回復する治療を受けた方

個人情報保護について：本研究で用いるデータは、年齢・性別・治療後の経過などであり、氏名やカルテID番号など個人が特定できる情報は収集いたしません。そのため研究に参加されることによる利益、不利益はありません。また本研究で得られたデータは、東京医科歯科大学で解析、研究終了後、10年間保管され、その後完全に破棄されます。

利益相反：本研究は「文部科学省および日本学術振興会が交付する科学研究費助成事業(20K18524)」および「大学の運営費」により実施され、特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたって、歯学部倫理審査委員会に申請を行い、承認されています。

【利益相反にかかる説明】

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

研究成果の公表：本研究の成果は、国内外の学会・学術誌等にて公表を予定しております。

研究期間：東京医科歯科大学歯学部倫理審査委員会承認後 ～ 2025年3月31日まで

研究協力機関名：田代歯科医院、鈴木歯科、トータル歯科東京青井、大谷歯科クリニック、はばら歯科

問い合わせなどの連絡先：

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学病院 むし歯科

研究責任者：佐藤隆明(大学院医歯学総合研究科う蝕制御学分野)

03-5803-5736(対応可能時間帯 平日9:00～17:00)

苦情窓口連絡先：

東京医科歯科大学歯学部総務係

03-5803-5404(対応可能時間帯 平日9:00～17:00)